

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りあんkidsスポーツクラブ（児発）		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日	～	令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日	～	令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 17日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの事を十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析した上で、児童発達支援と放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成している。	個別支援計画に沿った個別のプログラムを考え、個別療育に集中して取り組めるようにしています。 プログラムが固定化しないよう、運動や活動の内容を日替わりで行い、季節の行事を取り入れて工夫している。	職員と保護者との情報共有に努め、子ども一人一人の課題に適した支援計画を作成していきます。
2	子どもは安心感を持って通所している。	毎日笑顔で迎え、子どもの思いや考えを否定せずに、まずは受容するよう意識して接している。 集団活動に参加が難しい子どもに対して、職員と一緒に見学する等の対応をし、無理のないようにしている。	不安感のある子どもに対しては個別に相談する機会を設け、安心して過ごせるようにしていきます。
3	事業所の支援に満足している。	多機能型（児童発達支援・放課後等デイサービス）の強みを生かし、未就学児と小学生との異年齢交流を深めたり、長期休暇中は戸外活動や買い物学習、調理体験等の活動を取り入れ、社会経験を積めるように工夫している。	今後も、子どもと保護者のニーズを把握し、よりよい支援を行って参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会があるか。	療育中に交流の機会を設ける事が困難な為。	交流の機会に繋げていけるよう、担当者会議等の際に、各園や小学校、児童クラブの先生とコミュニケーションを取るようになっていきます。
2	保護者やご家族が参加できる研修・交流機会の少なさ。	保護者の方やご家族が参加できる研修は開催できておらず、外部の講師などに依頼し、開催していきたい。	保護者の方の要望なども伺いながら、必要とされている交流の方法を検討していく。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等がs久手伊勢れ、保護者に周知・説明されていますか。 また、発声を想定した訓練が実施されているか。	事業所の職員間では周知出来ており、発声を想定した訓練も行われているが、保護者への周知・説明が出来ていない。	SNS（インスタグラム等）に投稿する等の方法はしていますが、HUGアプリ（連絡帳）に乗せる等の方法で保護者への周知・説明の方法を検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						
りあんkidsスポーツクラブ（児発）		令和8年 4月 20日						
		保護者数	回収数	回収率	利用児童数	回収数	回収率	
		12名	12名	100%	12名	12名	100%	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		環境・体制整備	1	12				
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		しているので、今後も職員のスキルアップ	
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			1			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	12						
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1		1	写真に載っている事以外は分からない。 子供の特性に配慮した環境作りや声掛けをして頂いていると感じます。	個別支援計画書やモニタリング、HUGアプリで、ご利用された日のお子様の様子を連絡を継続して行います。内部研修の充実を図り、より支援の質を向上できるよう努めて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			2		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				子供の様子に合わせて支援内容を工夫して頂けると嬉しいです。	より良い支援ができるよう、お子様達に必要な支援内容について具体的に設定出来るよう、引き続き努めて参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			2	全体のプログラムは見えていないので分からない。	福岡県のHPにて支援プログラムを公表しております。引き続き、お子様の状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施して参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9		1	2		
保護者への説明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6		2	4	家での取り組みに対して、一緒に伴走してもらえると心強いと思う。	プログラムとして、ペアレント・トレーニングは行っていませんが、ご相談がある場合には個別に対応しております。今後も、何かお困り事がございましたら、お気軽にご相談下さい。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1	1	1	送迎の為、連絡帳のやりとりのみ。	フィードバックの時間を設けておりますが、それ以外でも何かお困りごとがございましたらお気軽にご相談下さい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1	1	4	面談の機会は減った。	個別支援計画書の更新に合わせ、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけ下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	2		1	助言の方が多いと感じる。	引き続き、ご家族やお子様の状況に寄り添った支援ができるよう、努めて参ります。

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4			8		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1		4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	2		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11		1			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	2		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	3	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	りあんkidsスポーツクラブ(児発)		職員数	提出数	提出率：100%	公表日	令和8年 4月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		クールダウン出来る部屋の代わりにカーテンやパーテーションを使用して、部屋を分割して対応している。	今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	職員の欠勤がある際にも対応できるように、社内連携しております。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		子ども達が動きやすい様、絵カード等を掲示して、環境設定をしている。定期的に室内環境の見直しや備品の整備を行っている。	引き続き、子ども達が分かり易くかつ過ごし易い構造化された環境を目指し、適切な配慮を行って参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		ゴミやホコリ等気付いた特に清掃し、営業前や営業終了後等も清掃を行っている。	引き続き、環境整備に努めて参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		プログラム内容や子ども達の状況に合わせて、適宜部屋を分けて使って活動しています。	引き続き、環境整備に努めて参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		朝礼や終礼時に職員間で子ども達の情報を共有しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者評価を実施しています。頂いた評価やご意見を元に職員間で話し合い、改善に繋がっています。	全職員で保護者様のニーズを把握し、引き続き、改善に向けて努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		子どもの様子等を職員間で共有し、把握している。	全職員で保護者様のニーズを把握し、引き続き、改善に努めて参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者による外部評価等は行っていない。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		社内研修や外部研修を実施し、学びの機会を常に設けています。	引き続き、内部研修や外部研修に積極的に参加し、学びの機会を確保して参ります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ガイドラインに基づき、支援プログラムを作成し、福岡県のHPにて公表しております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		アセスメントを行い、子どもの課題を分析しております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		全職員でケース会議を行い、作成しております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画に沿った活動を行う様、研修や育成を行っております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の行動観察や、保護者様からの聞き取りを元に行っております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけではなく、保護者や園、学校等に関しても必要に応じて対応しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で役割分担を行い、活動プログラムを組んでいる。	引き続き、職員間で意見交換しながら、プログラム立案が行える様に努めています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	毎日、運動内容が被らない様、事前に計画を立て実行している。	固定化が必要な内容については意図的に行い、子ども達が楽しく運動や活動が出来る様、取り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	基本は運動療育をメインに取り組んでいますが、本人やご家族の方からの要望に沿って、集団活動の目標を設定しています。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	朝礼や終礼時に職員間で子ども達の情報を共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かして参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	朝礼や終礼時に職員間で子ども達の情報を共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かして参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	その日に行った支援内容を記録している。	適宜、子どもの状況を記録に残し、必要に応じて開示致します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	支援計画の更新時やその他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	より広く職員が参画出来るよう、事前に計画を立てて、モニタリングを実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	児童発達支援管理責任者を中心に参画しております。必要に応じて他の職員にも参画出来るよう調整致します。	内容については、事業所内で共有を行っていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	保育園（所）、幼稚園等と情報共有を行う事が出来ている。	内容については、事業所内で共有を行っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	保護者様の要望に応じて適宜連携を図っております。	より積極的な連携を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	保護者様の要望に応じて適宜連携を図っております。	より積極的な連携を図ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	機会がありませんが、必要に応じて行います。	内容については、事業所内で共有を行っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	保育園（所）、幼稚園の子どもと交流する機会はない。	必要に応じて実施を検討致します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	主にフィードバック時に、ご家庭やエンデの様子等を伺い、共通理解を持つよう努めて参ります。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めて参ります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	ご家族に対して、情報共有は行っている。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していない為、今後必要に応じて検討致します。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	作成時に聞き取りを行い、保護者様や本人の要望や意向の確認を行っております。	今後も要望や意向の確認をしながら作成して参ります。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		面談を行い、計画内容の説明をし、同意を頂いております。	今後も丁寧な説明に努めます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		4	保護者とのコミュニケーションを密に取り、相談しやすい関係性構築に努めて参ります。状況によっては、面談の機会を設けています。	引き続き、保護者様との信頼関係が構築出来るように努めて参ります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者会等の開催は行っていません。	必要に応じて実施を検討致します。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談窓口を設置し、掲示の上、周知しております。契約時にもご説明しております。	相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切な対応に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		定期的にインスタグラムに投稿したり、事業所通信を発行している。	今後も情報発信の充実と周知に努めて参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報のファイル等は、鍵付きの書庫に保管している。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離等、十分に留意致します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		4	絵カードや文字の掲示等、理解度に合わせた掲示の仕方を工夫しております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域の住民を招待しての行事は行っていません。	必要に応じて実施を検討致します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルを作成し、定期的に避難訓練を行っております。避難訓練に加え、感染症や防犯等も職員間でシミュレーションを取るよう心掛けています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行って参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		災害の発生に備えて、定期的に避難訓練を行っている。（火災、地震等）	引き続き、安全に留意し、支援を行って参ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		基本情報を提出して頂き、毎年確認しております。	てんかん等の対応について職員間で周知出来るようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		アレルギーのある子どもに対しては、事前に聞き取りを行い、対応に方法を把握している。	飲食のあるイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認致します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4	安全計画を策定し、計画に沿って、事業所内で研修や訓練を行います。	引き続き、安全に留意し、支援を行って参ります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		熱中症の注意喚起等、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やLINE等で周知しております。	引き続き、内容の周知を行って参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットがあった際は、職員間で情報共有し、再発防止対策を講じている。	引き続き、安全に留意し、支援を行って参ります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		4	定期的に虐待防止研修を実施しています。また、必要に応じて児童相談所やその他関係機関と連携を図っております。	引き続き、関係各機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施して参ります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		職員に対し、内容周知の為の研修を行います。今年度の対象の子どもは居りません。	今後、必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うと共に、身体拘束の適正化に努めます。	